

**第9回ホームカミングデー講演**

# **北アメリカのZEN**

**— 『禅と林檎 スティーブ・ジョブズという生き方』 刊行に因んで—**

**石井清純(駒澤大学)**

**平成24年11月3日(土・祝)**

# 1. 北米における仏教の受容

## (1)北米仏教の現状

ケネス・田中武蔵野大学教授「欧米人を魅了する仏教の秘密」より  
(中日新聞12/3・10朝刊)

○米国の仏教徒 約300万人 (人口の約1%)  
アジア系仏教徒50%      改宗50%

○仏教同調者(ナイトスタントブディスト) 約250万人

○仏教に重要な影響を受けた人 約2500万人

※人口の10%近くが仏教の影響を受けている

**天啓の宗教**



**自覚の宗教**

○キリスト教：神の啓示により生きる

○仏教：実践により自らを目覚めさせる

※自己の可能性を最大限に認める教えとしての魅力。

※最も実践的な教えが「禅」

## (2)受容形態の分類

### ○チャールズ・ブレビッシュ →2分類

- 移民の仏教
- 改宗者の仏教

### ○ジャン・ナティエ →3分類

- 輸入仏教

知的入門→高学歴高収入「エリート」

- 輸出仏教

アジアからの輸出。SGI

- 荷物

移民が「持ち込んだ」仏教。エスニック

## ○ケネス・田中

→4分類

- 旧アジア系仏教

中国・日本より流入しアメリカに定着

- 新アジア系仏教

未だエスニカルな色彩が強い。

- 冥想中心の改宗者

禅・チベット・東南アジア系

- 題目中心の改宗者 SGI

### (3) 大学における仏教教育と研究

#### ◇スタンフォード大学

- Ho Center for Buddhist Studies at Stanford
- Buddhist Community at Stanford (BCAS)

#### ◇UC-ロサンゼルス校・バークレー校

- Center for Buddhist Studies

#### ◇コロンビア大学

- Center for Buddhist Studies
- Columbia University Buddhist Association

# ◇スタンフォード大学仏教研究所演習室



◇宗教学科 2012 Spring カリキュラム

- “Zen Buddhism”, Carl Bielefeldt
- “Readings in Indian Buddhist Texts”, Paul Harrison
- “Buddhist Narratives & The Shaping of Medieval Chinese Religiosity”,  
Chiew Hui Ho
- “Buddhist Commentary Tradition in 4th Century China”, Jinhua Chen



# 2. 禅の北米進出と ふたりの“鈴木”

# (1) 鈴木大拙と『禅と日本文化』の刊行

D. T. Suzuki 1870-1966

(Daisetz Teitaro Suzuki)

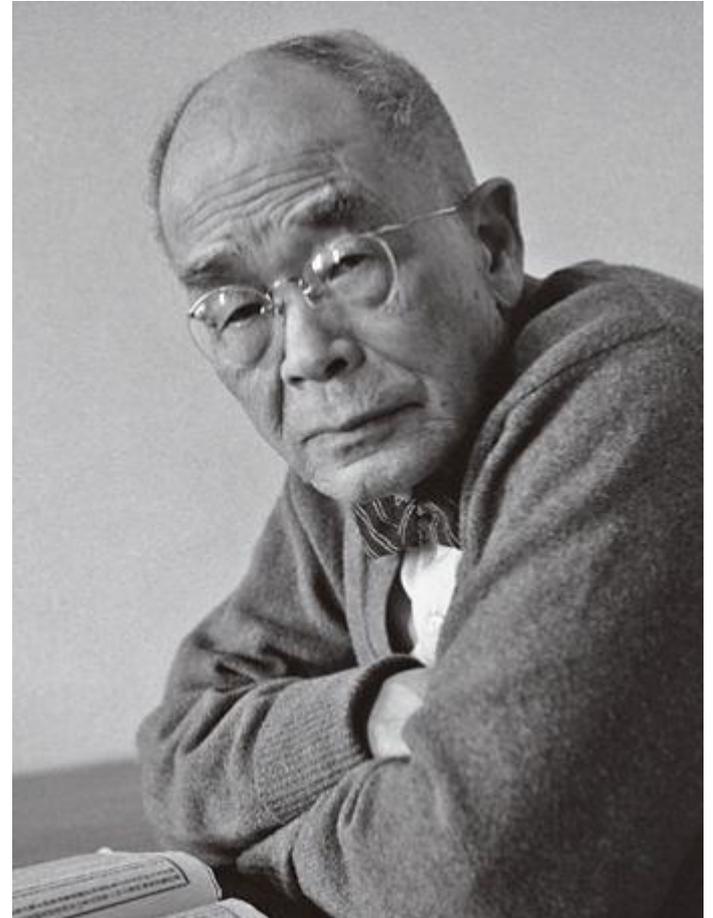
本名：貞太郎。仏教哲学者。

松が丘文庫を創設。

27歳：渡米。東洋思想を紹介

69歳：『禅と日本文化』を執筆

80歳：コロンビア・ハーバード  
大学等にて講義。禅ブ  
ームの火付け役となる。



## ◆『禅と日本文化』

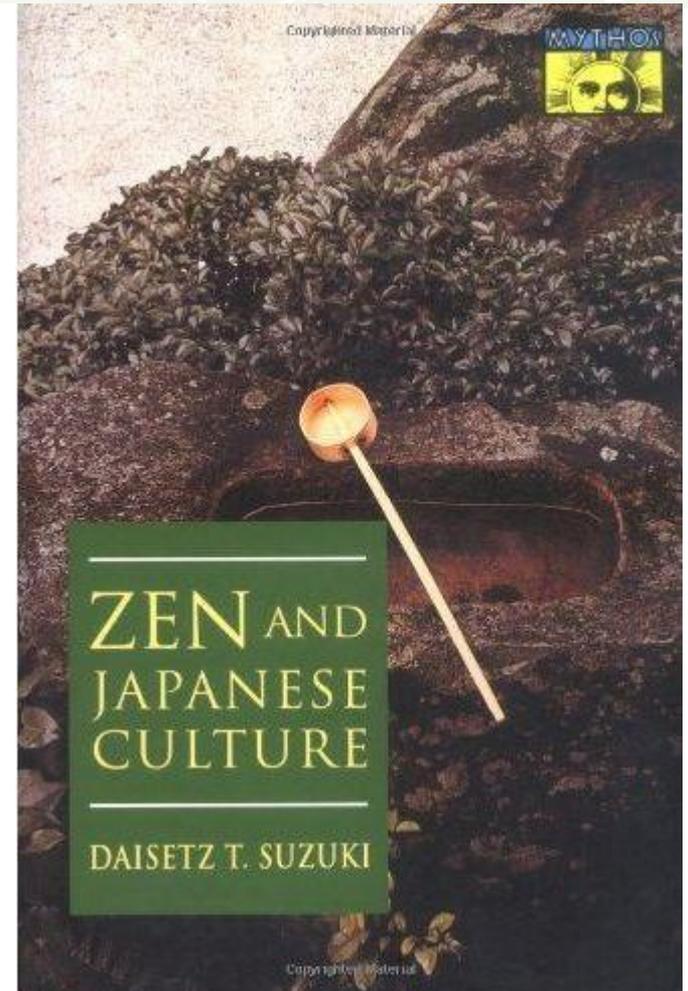
- *Zen Buddhism and Its Influence on Japanese Culture* (1939)
- *Zen and Japanese Culture* (1970)

※日本の禅と文化を西欧に紹介

※日本文化すべての根底に  
「禅」があるという誤解を招く。



「禅オリエンタリズム」



## (2) 鈴木俊隆と禅センターの建設

1905-1971

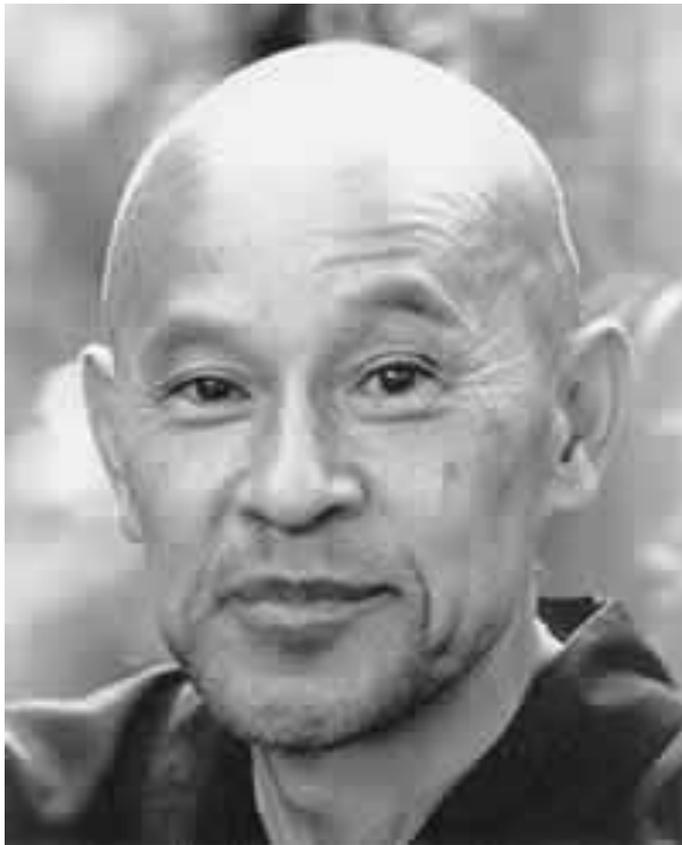
神奈川県生まれ。曹洞宗僧侶。現地の参禅者のために禅センターを開設、禅の実践の普及に尽力。

自称: Little Suzuki,  
Crooked Cucumber

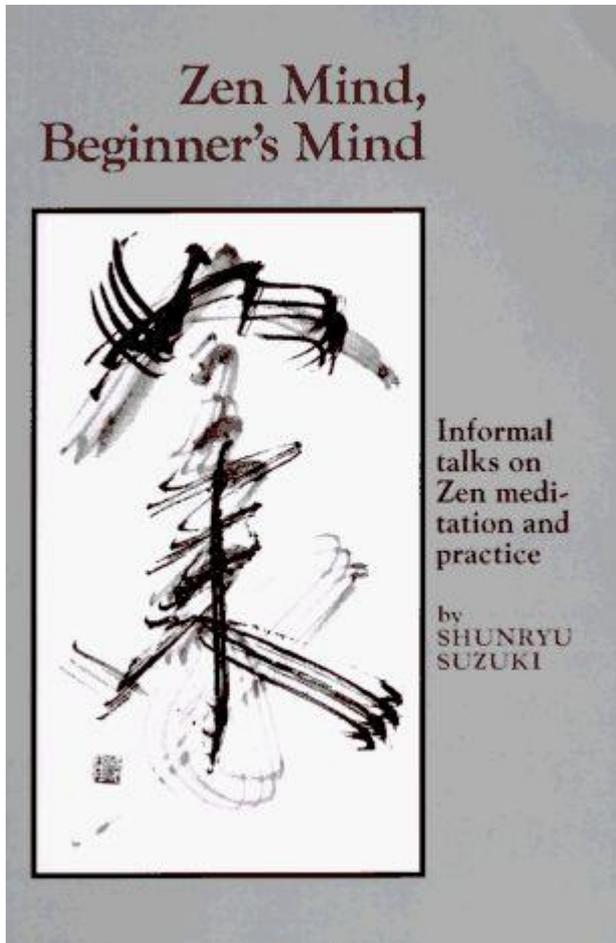
55歳: 桑港寺住職

57歳: Beginner's Mind Temple  
(発心寺)を建立

65歳: *Zen Mind, Beginner's Mind*  
出版。



# Zen Mind, Beginner's Mind



邦訳:『初心・禅心』・『禅へのいざない』  
・『禅マインド ビギナーズ・マインド』

※45ヶ国で翻訳される。

※参禅に対する基本的な心構え

※薬物などの使用を廃し、純粹に  
坐禅に打ち込む。



**道元禅師の「只管打坐」**

# 3. 北米の禅受容

※北米の曹洞宗寺院は48ヶ寺（曹洞宗公式サイトより）

## (1) カリフォルニアの禅宗寺院

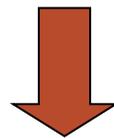
- ① 禅宗寺（ロサンゼルス）
- ② 桑港寺（サンフランシスコ）
- ③ 好人庵（オークランド） ほか

# 北米の禅宗寺院の役割

民族的な「伝統的儀礼」の担い手



地域の社会活動の拠点



仏教・禅による自己研鑽の場所

# 桑港寺





# ◆ 伝統行事



# ◆奥村正博師による『正法眼蔵』講義





# 好人庵





## (2) 主な禅センターの紹介

- ① サンフランシスコ禅センター
- ② ボディ・マнда禅センター
- ③ ゼン・マウンテン・モナスタリー
- ④ シャスタ・アベイ禅センター

☆それぞれに日本には見られない形式あり

# ① サンフランシスコ禅センター

City Center (サンフランシスコ市内)

Beginner's Mind Temple (発心寺)





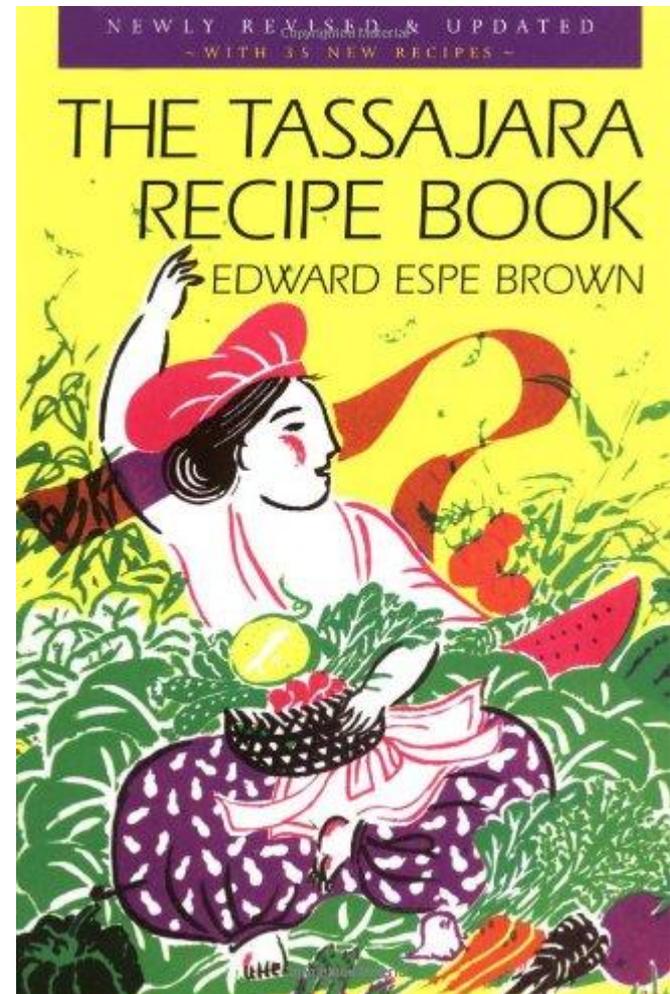
Tassajara (タサハラ)

Zen mountain Center Zenshin-ji (禅心寺)

※温泉保養地を経営(夏期)

※独自の精進料理を開発  
レストランを経営

※安居期間は清規に基づいた  
徹底した修行を実践



# Green Gulch Farm Green Dragon Temple (蒼龍寺)









## ② ボディ・マンダ禪センター(臨濟宗)

Albuquerque, New Mexico

Sasaki Joshu

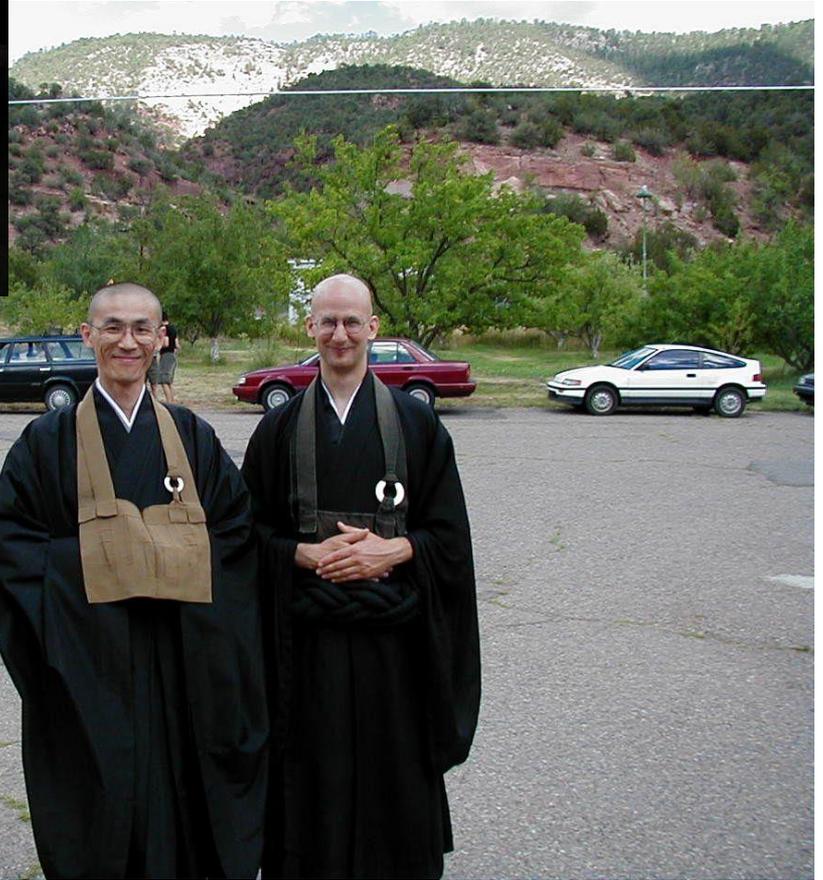


BODHI DR

BODHI  
MANDALA  
ZEN CENTER

Seminar in Progress  
- Closed to the Public -  
Reopens.







प्रत्यक्षमूल सूत्र  
Pratyakshamula Sutra  
सत्त्वोपपदान्त सूत्र  
Sattvornopadanta Sutra  
अनाहारा सूत्र  
Anaharaha Sutra  
हराप 華病経  
Hara pa 華病経  
सुद्धिकीर्तमोचना सूत्र  
Suddhikirtimocana Sutra  
解字空経  
解字空経

LECTURE

# ③ ゼン・マウンテン・モナストリー

New York, Catskill mountain

John Daido Looi

# The Eight Gates of Zen

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| ① Zazen (坐禪)                | ⑤ Right action (正行)   |
| ② Study with a teacher (参禪) | ⑥ Art practice (芸術活動) |
| ③ Academic study (研鑽)       | ⑦ Body practice (正身)  |
| ④ Liturgy (祈禱)              | ⑧ Work practice (作務)  |

※曹洞禪に「参禪」などの臨濟禪的要素が加わる

# ④ シャスタ・アベイ・禅センター

Mount Shasta, CA

Jiyu Kennett

# ジュウ・ケネット師

大本山總持寺にて修行、孤峰智璨(こほうちさん)  
禪師に嗣法し、1970年、カリフォルニア北西部  
に修行道場を開設。

メロディーのついた読経

### (3) ジョブズの師 乙川弘文

1938-2002

・乙川家に生まれ、知野家の養子となる。

1967年渡米

タサハラにて修行僧の指導にあたる。

1969年 姓を乙川に戻す。

1971年 ジョブズと出会う

1986年 Next社の精神的指導者となる。

2002年 逝去

# 4. 北米禅の歴史

## (1) ビート禅とスクエア禅 1950年代

※自己のすべてを「禅」に投げ入れる

### ・ビート禅:

アメリカ社会への反発を「非アメリカ人」として禅的思考に基づいて詩や芸術で表現するもの

### ・スクエア禅:

宗派の別は問わず日本の修行道場の修行形態をストイックに再現しようとする禅。

## ◆ ジャック・ケルアック

- ・ *The Dharma Bums* (1958)

ビート詩人： ゲーリー・スナイダー  
アラン・ギンズバーグ など

## ◆ 鈴木大拙の活動が大きく影響

- ・ 『禅と日本文化』(1939)
- ・ コロンビア大学等での講義(1950～)

## (2) ヒッピーの折衷主義 1960年代

※既成の宗教儀礼から都合の良いものを組み合わせて独自の体系を作り上げる。

- ・自らの自由な生き方を確立するための独立した集団の構築を目指す。
- ・薬物等の使用による神秘体験の追求も

## ・鈴木俊隆:

1961年に発心寺を開創。坐禅と規矩を重視  
*Zen mind Beginner's Mind* 刊行(1970)

## ・前角博雄:

1967年に仏真寺を開創。公案禅を導入

●現地の要望に応える形で、禅の多様化へと向かう。ただし、創設者が日本僧である禅センターにはある程度の歯止めはあったと考えられる。しかしその中で、その日本僧すら多様であった。

● Maezumi Hakkuyu (前角 博雄, 1931 ~ 1995)

Japanese-born Soto Zen priest with dharma transmission in both the Rinzai Zen school and the Harada-Yasutani lineage....

James Ishmael Ford, a Zen priest and an American Zen historian of sorts, writes, “**Taizan Maezumi is probably the most important *koan* master to come West...the first Zen teacher in the West to receive formal Dharma transmission in the Soto, Rinzai, and Harada-Yasutani lines.**”

### (3)知識階級の禅 1980年代以降

※精神的・経済的安定の基盤として禅の思考を取り入れる

- 禅的指向を経済発展の精神的背景と考える。
- 個人の可能性を禅によって引き出す。
- 知的好奇心の対象。
- 宗教紛争の解決策の一つとして禅(仏教)を見る。

## ◆ 柳川啓一

### 「アメリカにおける日本仏教」

(『学士会報』1983.1・『祭と儀礼の宗教学』1987再録)

- ・ブディスト・チャーチから  
ブディスト・テンプルへ
- ・さらに禅センターの設立を指摘

## ◆現代アメリカにおける禅受容の5類型

- a) 「**世俗主義secularism**」：世界を成り立たせる要素の中の選択肢の1つと見る。
- b) 「**個人主義individualism**」：個人的体験のための媒体として取り扱うもの。
- c) 「**折衷主義eclecticism**」：いろいろな宗教から材料を仕入れ、精神性を高めるための個人版を作り上げるもの。

- d) 「**平等主義egalitarianism**」：精神生活においては何人も同等のプレーヤーであるとするもの。布教者の優越性は、階層化へ反抗するアメリカ文化により担保されない。
- e) 「**行動主義activism**」：信仰の体系というよりも、実践すべきものとして仏教を考え、教義や儀礼に興味を持たず悟りという目標とそこへ到る実践を信じる。

# 5. ジョブズの立場

- 幼い頃より神への信仰心は薄い。
- 人の「本来性」=自己の才能を強く意識

※自己の尊厳性と可能性を評価

- 薬物による神秘体験を経験
- インドで瞑想を実践

※折衷主義的行動

- *Zen Mind Beginner's Mind* を評価
- 鈴木俊隆の指導方法は好まない

## ※集団での厳格なる修行とは距離を置く

- すべてをそぎ落とした絶対性を追求
- 永平寺での修行を希望(乙川弘文により断念)
- 終生「黒服」=作務衣を着用

## ※禅は自らを見つめ安定させ、次の 行動を目指すための媒体か

# 6. 禅の展開に関する日米比較

日本	北米
<b>伝来(24流)</b>	<b>日本人僧それぞれの展開</b>
<b>五山・林下</b>	<b>臨済・曹洞の混在</b>
<b>密参禅</b>	<b>公案禅の導入</b>
<b>輪番住持制</b>	<b>複数代表制</b>
<b>各地の信仰との融合</b>	<b>個人的精神性・禅センター</b>
<b>本末・寺請制度</b>	×
<b>明朝禅の流入</b>	×
<b>復古運動・集団修行の復活</b>	—
<b>神仏分離</b>	×

# むすびにかえて

## (1) 禅オリエンタリズム批判

※ 禅と日本文化の拡大解釈の是正

### ◆ 山田奨治 『禅という名の日本丸』

(弘文堂、2005)

- ・ 龍安寺の石庭と「禅のこころ」
- ・ オイゲン・ヘリゲル 『弓と禅』

## (2)あるアメリカの教育DVD制作会社の質問

1. 禅仏教と、その今日の社会への影響について、特に今日の世界的に紛争の勃発している視点から伺いたい。この難しい時期、多くの人々が宗教へと向かっているが、彼らは求めている人生の答えや慰めを見出すことができていない。仏教や仏教思想は「よりよき人」となるためのより精神的な進路を提供することができるか。

## 2. 坐禅について。

アメリカは、特に職場環境において、極めてストレスの高い環境にある。禅は、ストレス対策となりうるか。また、なるとしたら、人々は、多忙な日々の中でどのように坐禅に取り組めばよいのか。

3. 私たちには、日本では日常生活や文化(絵画や日本庭園)の中に禅があるように見受けられる。

しかし、この文化は、海外に紹介されているのだろうか？

他国の人々が、例えば、禅庭の「極地」や、何もない空間にある「智慧」を学び、理解することはできるのだろうか。

# 社会科学系学部 1年生へのアンケート結果

実施年	仏教は精神的救済となるか		坐禅はストレス解消になるか		日本文化の根底には禅があるか	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
07	96.2%	3.8%	46.2%	53.8%	46.2%	53.8%
06	84.6%	15.4%	56.4%	43.6%	28.2%	71.8%
05	86.5%	13.5%	51.4%	48.6%	54.1%	45.9%
計	88.2%	11.8%	52.0%	48.0%	42.2%	57.8%

### (3) 禅の基盤としての集団修行の場の建設

※ 日米間の「意識のずれ」の解消

※ 「文化的変容」の容認と基本の維持

・ **天平山禅堂プロジェクト**

※ 「出家者専用」の修行場所の建設

→ 中軸となる教義・規矩の保持

追跡者 ザ・プロファイラー

「ステイブ・ジョブズ

“シンプルに、前へ”」

BSプレミアム

11月7日（水） 午後9時00分～10時00分



**開校130周年 駿沢移転100年**

ご静聴ありがとうございました。